

- 問1 日本の気候区分において、冬にシベリア方面から吹き込む北西の季節風が日本海の上空で水分を蓄え、山脈にぶつかることで雪や雨を降らせる結果、冬の降水量が夏よりも多くなる地域を何と呼びますか。（2022年 群馬県公立入試 類似）
1. 日本海側の気候                      2. 中央高地の気候                      3. 太平洋側の気候                      4. 瀬戸内の気候
- 問2 静岡県の農業の特色について、茶とみかんの生産状況や地理的背景をふまえて説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2020年 滋賀県公立入試 類似）
1. 日本一の茶の生産量を誇るほか、温暖な気候や傾斜地を活かしたみかんの生産でも全国的に高いシェアを占めている。
2. 茶の生産量は全国一位であるが、みかんの生産は寒冷な北部山間部に集中しており、全国的なシェアは低い。
3. 茶の生産量は全国上位であるが、みかんの生産に関しては四国地方や九州地方に次ぐ規模であり、全国シェアは一割に満たない。
4. 明治時代に開拓された牧之原台地でみかんの栽培が始まり、現在は茶の生産を上回る主要な産品となっている。
- 問3 中部地方における農業の特徴に関する説明として最も適当なものを、次のうちから1つ選びなさい。（2026年 熊本県公立入試 類似）
1. 長野県では冬の温暖な気候を生かしてトマトなどの促成栽培が行われ、静岡県では平野の水田を生かしてレタスの栽培が行われている。
2. 長野県では夏でも涼しい高原の気候を生かしてレタスなどの抑制栽培が行われ、静岡県では台地などの地形を生かして茶の栽培が行われている。
3. 長野県では水はけのよい台地を生かして茶の栽培が行われ、静岡県では夏の冷涼な気候を生かしてトマトの抑制栽培が行われている。
4. 長野県では平水域を生かしてのりや貝類の養殖が行われ、静岡県では冬の冷涼な気候を生かして茶の促成栽培が行われている。
- 問4 日本アルプスを構成する3つの山脈について、北から順に正しく並んでいる組み合わせはどれですか。（2024年 静岡県公立入試 類似）
1. 木曽山脈・飛騨山脈・赤石山脈    2. 赤石山脈・木曽山脈・飛騨山脈    3. 飛騨山脈・赤石山脈・木曽山脈    4. 飛騨山脈・木曽山脈・赤石山脈
- 問5 中部地方のある都市の統計において、1月の平均気温がマイナス0.4度、7月の平均気温が23.6度となっています。また、降水量は1月が35.9mmと非常に少なく、7月は138.4mmとなっています。長野県などの内陸部で見られるこのような気候区分を何と呼びますか。（2022年 福岡県公立入試 類似）
1. 瀬戸内の気候                      2. 太平洋側の気候                      3. 日本海側の気候                      4. 中央高地の気候
- 問6 新潟県の小千谷ちぢみや石川県の輪島塗など、北陸地方において伝統的な手仕事による産業が古くから発展した理由として、この地域の自然環境と当時の人々の生活との関連を説明したものとして最も適切なものを次の中から選びなさい。（2015年 佐賀県公立入試 類似）
1. 夏の高温多湿な気候を利用して原料となる植物を大規模に栽培し、一年中安定して生産活動を行える環境があったから
2. 日本海側の港を利用して海外から安価な原料を大量に輸入し、それを加工する近代的な工業団地が早期に形成されたから。
3. 年間を通じて降水量が少なく乾燥した気候が、漆器の乾燥や布の織り上げに非常に適していたから。
4. 冬は積雪が多く屋外での農作業が困難になるため、その時期の安定した収入を求めて屋内での副業が盛んになったから。
- 問7 日本アルプスを構成する3つの山脈について、北から順に、通称「北アルプス」「中央アルプス」「南アルプス」と呼ばれます。このうち、最も北側に位置する「北アルプス」の正式名称を選びなさい。（2024年 長野県公立入試 類似）
1. 越後山脈                      2. 飛騨山脈                      3. 赤石山脈                      4. 木曽山脈
- 問8 愛知県や静岡県を含む東海地方の工業統計において、製造品出荷額の割合が他県に比べて突出して高い「輸送用機械器具」の製造に関する説明として、最も適切なものはどれですか。（2017年 奈良県公立入試 類似）
1. 高度な技術を要する電子部品や半導体の製造が中心であり、内陸部のIC付近に工場が集中している。
2. 自動車の生産を中心としており、多くの部品工場が周辺に集まることで効率的な生産体制が築かれている。
3. 海外から輸入した鉄鉱石や石炭を加工する製鉄所が沿岸部に集まり、金属製品の出荷額が最大となっている。
4. 明治時代から続く繊維工業の伝統を引き継ぎ、現在も衣類や布製品の出荷額が産業の半分以上を占めている。
- 問9 北陸地方の農業的特徴に関する記述として、統計から読み取れる事実とその背景となる理由の組み合わせとして最も適切なものを選びなさい。（2018年 沖縄県公立入試 類似）
1. 農業産額の約半分を畜産が占めており、広大な土地を活用した大規模な乳牛の飼育が行われている。
2. 農業産額の約半分を果実が占めており、扇状地や水はけの良い土地を活かした栽培が行われている。
3. 農業産額の約半分を野菜が占めており、雪解け水を利用した夏から秋にかけての出荷が中心である。
4. 農業産額の約半分を米が占めており、冬の積雪の影響で裏作が困難な地域が多く、単作地帯となった。
- 問10 キャベツの栽培適温は15度から20度とされています。愛知県豊橋市のような平地では夏季の平均気温がこの範囲を大きく上回りますが、標高が高い群馬県嬬恋村では、7月から9月にかけてもこの適温の範囲内に留まります。このような気候の特性を活かして、他の地域での生産が困難な時期に野菜を栽培する農業の仕組みとして最も適切なものを選びなさい。（2023年 長崎県公立入試 類似）
1. 大消費地に近い利点を活かし、生産コストを抑えて新鮮な野菜を届ける近郊農業。
2. 冬の積雪を貯蔵して夏まで利用し、冷水で農作物の成長を調整する雪冷熱農業。
3. ビニールハウスなどの施設を用いて人工的に温度を上げ、出荷時期を早める促成栽培。
4. 標高が高く気温が低いことを利用し、平地で栽培が難しい夏季に野菜を育てる高冷地農業。
- 問11 中部地方における農業の統計において、農業産出額に占める「米」の割合が58.7%と極めて高く、広大な平野を活用した稲作が産業の大きな柱となっている県はどこですか。（2022年 群馬県公立入試 類似）
1. 新潟県                      2. 愛知県                      3. 長野県                      4. 岐阜県
- 問12 長野盆地周辺の様子を描いた地形図において、長野駅北西の山裾にある平楽地区には「円の中に点が打たれた地図記号」が多数分布しています。この記号が表す土地利用の名称と、都市の街路や建物の様子を詳細に把握するために用いられる大縮尺の地形図の縮尺の組み合わせとして、適切なものを選びなさい。（2018年 神奈川県公立入試 類似）
1. 広葉樹林と2万5千分の1地形図    2. 果樹園と5万分の1地形図    3. 田と1万分の1地形図    4. 果樹園と1万分の1地形図
- 問13 日本列島の中央部に位置し、日本海に面したある県について、統計資料において「米の収穫量が全国1位」であり、かつ「県内に越後平野が位置する」という特徴があります。この県として正しい名称を選びなさい。（2023年 愛媛県公立入試 類似）
1. 山形県                      2. 新潟県                      3. 北海道                      4. 秋田県